

# しず老施協

## 巻頭言



## 近年の在宅サービスで思うところ

静岡県老人福祉施設協議会

地域ケア委員長 杉山 昌弘

私は静岡県老施協で地域ケア委員長をしております杉山と申します。地域ケア委員会は在宅サービスについて調査、研究を行い必要な要望を県に提言していくことを主な役割にしています。

あくまで私の見解ですが、現状の在宅サービスの状況は、そのサービス自体の存続に関わる大きな問題に直面していると感じています。随分と大きなことを言っているように聞こえるかもしれませんが、私がそう思う背景として、在宅サービスの状況がここ数年で大きく変わってきているという事実があります。まず介護保険法が始まった時から在宅サービスの展開は「市場原理」に委ねるのが基本であったため、利用者人口が増え需要が高まっている時にはバランスがとれていたのですが、近年の人口減少となっている中、サービスの供給について明らかな地域格差と、バランスの取れない状況が出てきています。特に人口減少が進む地域においては採算がとれないヘルプなどの訪問系サービスは大きく減少し、サービスが提供できないエリアが出てきています。また一時需要が高まり、多くの事業所が集中したデイサービスについてはサービスの供給過剰に陥り、地域のデイサービス全体が稼働を落としていく現象が発生してきています。そしてさらにコロナ禍以降、特に顕著になってきているのが、介護市場の軽度化です。事実として県内の多くの地域で在宅サービス

の利用者の平均介護度が下がっています。居宅介護支援事業所の取り扱い利用者数を見ても、多くの地域で要介護が減少し要支援が増加しています。

今後地域ケア委員会ではこういった状況を調査し、その原因の推測などを行っていくつもりですが、現時点での私の予測としては人口減少していく中で高齢者のみの世帯が増加、結果的に在宅で家族が介護するという状態が維持できず、多くの世帯が入所系サービスを利用することになったのではないかと、特にコロナ禍以降増加したのは、社会的不安が高まる中、高齢者のみの世帯を遠方の家族が心配した結果、施設入所が増加したのではないかと考えています。

この状態が続くと近い将来に多くの事業所が利用者数が減少する、もしくはサービスが供給過剰過ぎることを原因として採算がとれず、廃止に追い込まれます。また、地域によってサービス提供がなくなってしまう、福祉サービスの喪失という現象が起こる可能性が高まってきます。そういった事態を防ぐため、今後老施協として様々な調査を行い、行政に実態を示しつつその対処として在宅サービス量の調整など規制を提言していかなければいけないと考えています。今後とも頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## 令和7年度予算編成に向けて県・県議会・政令市に要望 ～はじめて県知事への要望活動を行いました～

相談役・正副会長が8月22日（金）に鈴木知事と面談し、各要望項目について説明の上、特段の配慮をお願いしました。その後、県当局や静岡市、浜松市、県議会自民党介護議連に対して順次要望活動を行いました。（P9参照）

要望活動に関しましては、県福祉長寿局幹部職員との懇談会（意見交換会）を従前から実施してきているところですが、平成30年度に県副知事・健康福祉部長への要望活動を、令和2年度からは県議会自民党への要望活動を、令和3年度からは政令市（静岡市、浜松市）への要望活動を追加するなど要望活動を強化してきたところであり、今回は初めての試みとして県知事への要望活動を行いました。

今後も、会員の皆様の声を行政や議会等に届けるため、積極的な要望活動に努めてまいります。



左から種岡会長、鈴木康友知事



左から増田副会長、前田副会長、種岡会長、鈴木康友知事、石川相談役、大塚副会長

### <要望内容(要旨)>

#### I 介護人材の確保・養成・定着に向けた取組について

##### (1) 日本人介護人材の確保・養成・定着

本会が本年5月に実施した「介護人材確保等に関するアンケート調査」によると、全体の71.1%の施設で職員不足の状況にある。また、職員不足の影響から一部サービスの閉鎖及び閉鎖リスクがある施設が全体の22.5%あり、そのうち全体の12.3%の施設で既に一部サービスを閉鎖している状況にある。こうした介護現場の深刻な人材不足の状況を改善するため、次の事項について特段の配慮をお願いする。

- ・「介護就職フェア」等の開催回数の大幅な増加、開催場所や開催時期の検討、参加者掘り起し等によるマッチング機会の拡大
- ・中・高校生への介護の仕事への理解促進のため、教育委員会等との連携協力による「介護の魅力」の啓発や効果的な情報発信
- ・他業種の離転職者や本県への移住希望者への介護の仕事の情報提供の強化や介護福祉士等の資格取得に対する支援、ウェブ活用等による社会福祉人材センターの求人紹介機能の強化
- ・介護人材確保定着のため奨学金返還中の職員に対して奨学金の償還助成を実施している介護施設等に対する助成制度の創設

## (2) 外国人介護人材の確保・養成・定着

今後見込まれる介護サービス量に対応する介護職員が大幅に不足するため、日本人介護職員の採用努力とともに、外国人介護人材の採用拡大が喫緊の課題である。県内では外国人介護人材の採用はまだ一部の法人や事業所にとどまっており、今後は、外国人介護人材の確保・養成・定着への施策にご支援をお願いする。

- ・外国人介護人材の受入れ担当スタッフ向け研修会開催等による介護施設での受入支援
- ・外国人介護職員のキャリアアップや日本語教育に対する支援の強化
- ・外国人介護人材確保のために、モンゴルをはじめインドネシア、ベトナム等での現地面接会の開催等による法人・事業所とのマッチングなど受け入れ支援
- ・外国人介護人材の候補者に対して、静岡県での介護の魅力をイメージとして伝えるため、それぞれの国の言語や文化に配慮したリクルート用プロモーション映像の作成

## II 介護・福祉施設での生産性向上の推進について

介護ロボット・ICTの導入は介護現場の負担軽減に大いに役立つものであり、介護・福祉施設での生産性向上のため積極的な推進が必要である。このため、介護ロボット・ICT導入に係る助成制度の充実・強化をお願いする。また、国が介護現場での生産性向上やICT化推進のため設置を提唱する「介護生産性向上総合相談センター」の早期開設を要望する。

## III 福祉施設の老朽化への対応について

本年度より創設いただいた大規模修繕工事への補助制度が十分に利用可能となるよう必要な予算の確保をお願いしたい。また、今回創設の補助制度は政令市の施設が対象外となっているため、政令市の施設でも同様の助成が受けられるよう県から政令市への働きかけをお願いしたい。

## IV 物価高騰への対応について

物価高の状況は依然として続いており、特に高齢者施設では、入居者の食費やオムツ等の消耗品の上昇分を介護報酬で対応するのが困難となっており、施設経営に大きな影響を与えている。こうした、物価高騰による施設経営への影響に鑑み、緊急的な支援の実施を要望する。

## V 感染症への対応について

### (1) 新型コロナウイルス感染症流行拡大時の人的、物的支援について

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の扱いは5類感染症となったが、高齢者施設・介護事業所では依然として高い安全性の確保が求められている。検査キット等の確保や感染拡大施設への応援職員の派遣費用への支援を要望する。

### (2) 将来の新興感染症発生に備えた対応について

新型コロナウイルス感染症への対応で培ったノウハウを継承していくため、施設職員等に対する研修会の開催を要望する。また、感染拡大防止には初期対応が重要であることから、医療専門家チーム(FICT等)による速やかな現場指導の体制確保を要望する。

※ 要望書（全文）は老施協HPのピックアップに掲載しています。

こちらから ⇒



※ 関連記事：P9に県当局、静岡市、浜松市、県議会自民党介護議連に対する要望活動を掲載しています。こちらをご覧ください。

## 第13回高齢者福祉研究大会を振り返って ～伝えたい「私たちの介護の誇り」～



高齢者福祉研究大会実行委員会  
副委員長  
特別養護老人ホームあかなすの里  
施設長 山田 睦美

令和6年9月5日、グランシップにおきまして、第13回静岡県高齢者福祉研究大会が開催されました。

昨年を大きく上回る614名の皆様のご参加をいただき、暑すぎるくらいのお天気と同様、研究大会も非常に熱く盛り上がりました。

今年は、「未来へつなぐ ふじのくにの介護力」、サブタイトルを～伝えたい「私たちの介護の誇り」～と題し、開会式から記念講演、研究発表、同時並行に介護機器展と書籍販売と、盛りだくさんの内容で、介護が誇るチーム力がいかに発揮された大会だったように感じます。



会長表彰



「介護の日」ケアフォト応募作品のスライドショー上映

お忙しい中、静岡県健康福祉部の赤堀部長代理もお祝いに駆けつけてくださいました。ありがとうございました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

開会式では感謝状及び表彰状贈呈式も行われ、施設長感謝状を開寿園の釜田様、137名の永年勤続職員表



会長挨拶

彰者を代表して、東部あしたかホームの澁谷様、中部聖ヨゼフの園の鈴木様、西部第二遠州の園の杉浦様に賞状授与されました。

続いた記念講演では、「想定外を想定内に！命を守る為の防災！」と題しまして、ソナエルワークス代表で備え・防災アドバイザーの高荷智也氏を講師に招き、1時間ではありますが、実に内容の濃い、また奇しくもタイムリーな内容のお話を伺うことが出来ました。私たちの住む町や働いている地域が、どういった環境、状況にあるのか。今起きている、過去に起こった災害を他人事と思わず、ハザードマップはちゃんと見て、使って、理解して逃げなければ意味が無い。過去の災害で犠牲となられてしまわれた声なき声を、私たちはよく考えて「備え」なければならないことを学ばせていただきました。

今年度は各施設から55題の研究が発表されました。Aブロックは、「魅力ある職場づくり」と「社会福祉



高荷智也氏講演

## 〈優秀賞受賞施設〉

ブロック	発表施設	発表タイトル
A	特別養護老人ホーム久能の里	ようこそ！日本へ
B	特別養護老人ホーム亀寿の郷	亀寿の郷におけるACP (人生の最終段階で受けたケア…人生会議)の取組
C	養護老人ホーム掛川市ききょう荘	虐待防止検討委員会の取組み
D	特別養護老人ホーム土肥ホーム	ICT 今までの 概念を取っ払え
E	特別養護老人ホーム平成の杜	施設が大きな災害を受けて学んだこと



法人における取組」。Bブロックでは、「中重度ケアの実践」と「魅力ある職場づくり」。Cブロックは「多職種協働・連携の実践」と「在宅サービスの取組」。Dブロックは「暮らしを楽しむ工夫」と「魅力ある職場づくり」。Eブロックは「在宅サービスの取組」と「社会福祉法人における取組」。どの研究発表も、日頃の実践や取組の中で培った知識や経験を基にしっかりとした考察がなされ、更により良いものに繋げようとする目指すべきものの高さを感じるものばかりだったように思います。その中で、今年度は、施設長の研究発表も3題あり、また、県立短大の先生による研究発表もありました。回を重ねるごとに研究の質が上がり、発表の技術も磨かれているように感じます。



27社が参加した介護機器展は、6階の展示ギャラリーに所狭しとリフトや見守り機器、入浴設備、レクリエーション機器、感染対策グッズなどなどのブースが並びました。IT関連のブースが多く、やはり時代の流れを感じます。

書籍販売も久々に行われ、普段なかなかゆっくりと書籍を求めに本屋に行く余裕のない中で、介護にまつわる新書を中心に手に取ることが出来ました。

本研究大会を開催するにあたり、日々大変な業務の中、研究発表へのご協力をいただきました施設の皆様、当日快く参加をいただいた皆様、いつも一番の影の功



介護機器展示会

労者である老施協事務局の皆様、委員会を飛び越えてご協力いただいている各老施協委員会の皆様等々、多くの皆様のお力添えをいただき滞りなく会が終了できましたこと、研究大会実行委員会を代表しまして改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年は西部地区、浜松での開催が予定されております。1年後、更にパワーアップした静岡県高齢者研究大会が開催されますよう祈念いたします。

## 静岡県国際介護人材サポートセンター の開所にあたり ～外国人材から選ばれる県を目指して～



静岡県健康福祉部介護保険課長  
加藤 克 寿

団塊の世代が75歳を迎える2025年を目前に控え、さらに2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となるなど、介護を必要とする方は、今後ますます増加するものと見込まれています。

昨年度、県が実施した介護職員の将来推計では、2026年には約2,300人、2040年には約1万人が不足するものとされ、急速に進む高齢化を背景として、介護職員の増加が追いつかず、今後も人材の確保が大きな課題となってまいります。

このような中で、本県では、介護の仕事に対する理解促進、新規就業及び定着の促進を柱に、必要な人材の確保・育成・定着に取り組んでいるところでありますが、更なる処遇改善や生産性の向上を通じた国内人材の確保に加え、外国人介護人材の受入れを拡大し、定着を図ることが急務となっております。

県内の外国人介護職員は、EPAに基づく介護福祉士候補者の受入れが開始されて以降、外国人材の受入れ支援に積極的に取り組んできた結果、着実に増加を続け、昨年度、初めて1,000人を超えました。一方で、現場の皆様の声を伺いますと、外国人材の雇用に関心はあるものの、日本語教育への負担感や、単独の法人では採用や育成が困難などの理由から、受入れをためらう事業所も多く見られます。

こうした課題を解決するため、介護事業所や外国人介護職員からの雇用、生活等の相談にワンストップで対応するとともに、受入れ・定着や地域の事業者間の連携を支援する「静岡県国際介護人材サポートセンター」を社会福祉法人静岡県社会福祉協議会の御協力の下、去る7月24日に開所する運びとなり、開所式には、貴協議会 種岡会長に御来賓として御出席いただいたところでありま

センターにおきましては、介護事業所や外国人介護職員からの相談対応のほか、9月には、外国人介護職員の研修交流会や、介護事業所の支援・教育担当者を対象としたセミナーや情報交換会を開催するなど、外国人介護職員の受入れや定着に向けた支援を進めているところです。

今後は、静岡県老人福祉施設協議会を始めとした関係機関の皆様と連携しながら、センター機能の充実を図っていくことで、本県が外国人材から選ばれる県となり、介護人材不足の一助となることを期待しております。

〈静岡県国際介護人材サポートセンター〉

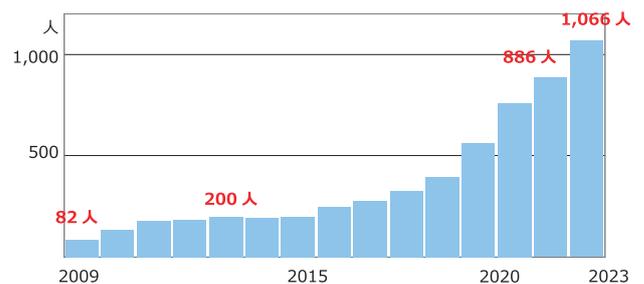
事務局：社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

静岡県社会福祉人材センター内

TEL：054-271-2110 FAX：054-272-8831

E-mail：foreigner@shizuoka-wel.jp

### 県内の外国人介護職員数の推移



静岡県国際介護人材サポートセンター開所式

## 特集3

メタバースで認知症の世界を体験  
～人をより深く知るための一試み～

静岡大学情報学部  
准教授

石川 翔 吾

認知症の生活障害の背景には、多種多様な認知的な障害があります。ケアプロフェッショナルの皆さまは、認知症の人との関わりで得られた知識を自身の認知的世界を通してイメージしながら、日々ケアを実践しているのではないのでしょうか。しかし、私が認知している世界とあなたが認知している世界は必ずしも同じではありません。例えば、色覚を例にすると、日本では男性の20名に1人、女性の500名の内1名に色覚異常があるという統計があります。また、日本では虹は7色に見えますが、5色で見える国もあれば6色で見える国もあり、文化的な要因も色覚に影響しています。さらに、最近の研究では一人一人が見えている色も全く同じには見えていないことが明らかになりました（私の見ている赤とあなたの見ている赤は少し違うようです）。



VRゴーグルを通して認知症世界を知る

このような認知の微妙なズレは、私たちのコミュニケーションにも影響を及ぼします。相手と自分は同じ世界を認知していると考えてコミュニケーションをしがちですが、この微妙な認知のズレによってコミュニケーションの不調をきたすことがあります。これはまさに認知症ケアの現場の中で起こっていることではないのでしょうか。そこで、我々は認知的経験を言葉だけで学習するには限界があり、実質的に経験するような場があると、より深く相手のことが理解できるように

なるという仮説を立てました。そのための手段として、バーチャル・リアリティ技術であるメタバース（VRゴーグルを通してバーチャル空間に没入する技術）を活用し（図1）、その効果検証をスタートしました。例えば、ケアプロフェッショナルの皆さまに、食事を提供しても召し上がっていただけない背景として、虫の幻視や、幻聴の影響があることを体験していただきました。その結果、相手がどのように経験しているか理解するための認知的な共感が向上していることが明らかになりました。この結果は、相手をより理解するためのきっかけになったことを示唆していると我々は考えています。さらに、認知症当事者の方々にも体験していただくと、幻視で見えるものの動き方や見え方は人によってさまざまで、その感じ方はその人の生活と関連していることが分かりました（虫の幻視は普段田舎で生活している方にはそんなに気にならないこともあるようです）。また、経験する世界は必ずしもネガティブなものだけではなく、可愛い猫の幻視がある方や綺麗な幻聴が聞こえる方もいらっしゃり、この世界の理解がより深く進んだように感じております。

このメタバース空間で再現できることは限られており、多様な世界を表現するには課題が山積みです。また、どのように体験していただくと効果的に学べるかの知見も不足しております。ぜひ、皆さまにもお力添えを賜れますと幸いです。



図1. 認知症世界の体験（味噌汁に浮かぶ虫の幻視）

## 誰でも楽しめるリアル野球盤



介護老人福祉施設 梅香の里  
施設長 大杉 和也

### リアル野球盤とは

誰でも簡単に楽しめるレクリエーションとしてリアル野球盤があります。リアル野球盤とは卓上で行う野球盤の基本はそのままに、高齢の方、障がいをもった方、車いすに乗っている方、どなたでも簡単に楽しむことができるように工夫されています。

ボールを投げるのはスロープを使用し、ボールを打つためにバットではなくスティックを使用します。誰が投げてボールがまっすぐ進み、打つ方も簡単に打つことができる仕組みです。1チーム7名程度で試合ができる為、気軽に参加できる事も特徴です。



### リアル野球盤の活動を通して

今回ご縁があり、静岡福祉大学社会福祉学部健康福祉学科の新井先生と2名の生徒の方を梅香の里にお招きし、リアル野球盤を開催しました。

当日はデイサービスのご利用者、特養のご利用者、職員の子どもも参加し応援者を含めれば30名程度の方がリアル野球盤ゲームに参加されました。

試合が開始されれば皆様が真剣な表情になります。ヒットを打てば喜び、アウトになれば悔しがり、ホー



ムランが出れば全員とハイタッチを交わしていきます。

自然と笑顔がこぼれ、相手チームの事も応援し、大いに盛り上がったレクリエーションとなりました。

### レクリエーションの繋がり

多世代交流ができる事もリアル野球盤の魅力です。競技中は誰もが真剣で笑顔が溢れていました。そして、互いの健闘を称えあう姿はとても印象的でした。

リアル野球盤に参加し楽しい時間を過ごすことが出来ましたが、それ以上にお互いの事に喜び、悔しがり、世代を超えて繋がる事の出来たこの活動が大変有意義であったと感じています。

私たちは地域と共に歩むことを目標としています。子供から高齢者まで楽しく参加できるレクリエーションは福祉教育にも繋がっていくように思います。こういった世代を超えた活動を活かしながら地域活性化の一助となるよう、今後も邁進していきたいと思ひます。



# 要望活動の報告

## ～静岡県・静岡市・浜松市・自民党介護議連への要望～

令和6年8月27日に静岡県へ、9月2日に静岡市へ、9月3日に浜松市へ、9月10日に県議会自民党介護議連への要望活動を行いました。

### <要望内容(要旨)>

知事要望(P2)の「I介護人材の確保・養成・定着に向けた取組について」～「V感染症への対応について」の要望項目に加え、以下の項目を加えています。

#### Ⅵ 防災対策の充実・強化について

BCP(事業継続計画)の実効性確保のための人的・物的支援、被災時における社会福祉施設の機能確保、福祉避難所機能の整備・維持に向けた支援などを要望する。

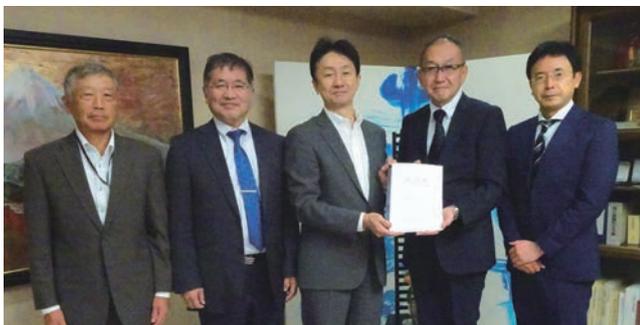
#### Ⅶ 各委員会要望について

特養委員会からは入所要件の緩和、日常生活継続支援加算の条件変更、優先入所指針の改定など、養護委員会からは入所措置が必要な高齢者の適切な把握と措置対応など、軽費委員会からは一刻も早い生活費の適正な改定など、地域ケア委員会からは介護支援専門員の処遇改善、今後の地域福祉推進方策を検討する場の設置などを要望する。

#### Ⅷ 厚生労働省への介護保険制度変更要望について

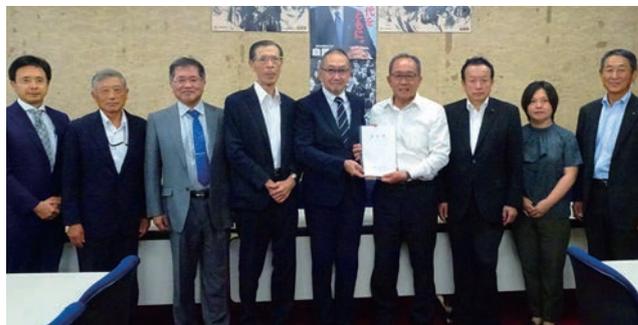
介護業界を取り巻く課題については、各施設の経営努力や、県単位の支援では解決し得ないものも多く存在するため、厚生労働省に対して施設・静岡県が一体となって要望を上げてほしい。

#### 【県副知事への要望】



左から前田副会長、大塚副会長、森貴志副知事、種岡会長、増田副会長

#### 【自民党介護議連への要望】



左から増田副会長、前田副会長、大塚副会長、石川相談役、種岡会長、鈴木澄美県議、良知淳行県議、望月香世子県議、宮沢正美県議

#### 【静岡県健康福祉部長への要望】



左から青山部長、種岡会長

#### 【静岡市保健福祉長寿局長への要望】



左から山本局長、種岡会長

#### 【浜松市健康福祉部長への要望】



左から小松部長、種岡会長

※ 要望書(全文)は老施協HPのピックアップに掲載しています。

こちらから ⇒



## 支部紹介(中部支部)

# 外国人介護人材育成につなぐ 日本語学校の開設



社会福祉法人駿府葵会  
日本語教育学苑  
事務長 村瀬 ヤオミン

社会福祉法人駿府葵会は2001年に設立され、翌年の6月に特別養護老人ホーム久能の里を開設しました。以来、地域の皆さまのご支援をいただき、特別養護老人ホームが2ヶ所、グループホーム2ヶ所、小規模多機能ホーム3ヶ所等々、計22事業所を有するまでになり、静岡市内に本部を構える社会福祉法人としては最大級の規模となるまでに成長することができました。

厚生労働省は各都道府県が3年に1度作成した事業計画をもとに、介護が必要な高齢者を支えるために必要な介護従事者の数の推計をまとめています。推計の発表によると団塊ジュニアの世代が高齢者となる2040年には272万人が必要なところ、57万人の介護従事者が不足することになります。また、ハローワークからの有効求人倍率は常に3倍を超えています。「介護労働安定センター」による介護労働実態調査では64.7%の事業所が人手不足と訴えています。

このような状況は当法人も例外ではありません、このままでは人手不足により介護サービスの質を維持することが難しく

なります。その為、2019年から介護技能実習生を受入れ始めました。現在法人全体は40名以上の技能実習生及び特定技能が在籍しています。

介護の現場では



日本語によるコミュニケーションはとても重要であり、技能実習生の日本語能力要件はN4で定められましたが、現実には文化、習慣などの違いがあり、日本人職員と技能実習生の間の言葉の壁に大変苦勞をしていました。何か解決策はないものかと辿りついたのが日本語学校の開設でした。

日本語学校設立にあたり、大きくは校地・校舎、教員、資産の三つの要件が必要です。地方出入国管理への申請をしてから1年間が必要です。書類審査だけではなく「文部科学省」によりヒアリングを受けなければ



なりません。「日本語教育機関の告示基準」という厳しい条件をクリアし、2023年4月に特別養護老人ホーム久能の里の敷地内に「駿府葵会日本語教育学苑」

を開校することができました。開校式に静岡市難波市長、相坂摂治静岡県議員、羽鳥の森前田施設長、地域の方々など出席していただきました。

日本語学校の定員と学習プログラムは学校によって違いがありますが、当法人は小人数の定員で、すべての学生に目が届く教育を目指し、年間定員を40名とし、4月入学と10月入学の2年コースと1年半コースにしています。卒業時に日本語能力がN2になるように目標を設定しています。今度の10月に入学予定の学生を合わせると70名の在籍になります。学生さんはミャンマー、ネパール、スリランカ、インド、中国の5ヶ国から来ています。



現在は将来、介護の仕事を希望している学生が7名ほどいます。これから、介護以外に看護師を目指す留学生も増やして行きたいと考えています。

留学生卒業後の進路について、学校が進路指導及び進学の手続きのお手伝いをしています。卒業するまで私たちはしっかりと静岡の良さを伝え、将来、静岡に残って、静岡に貢献する人材に育つようにアピールをしています。

日本語には独特な表現が多い上、日本社会の厳しい規律の体得が必要であることがもちろんのこと、多国籍労働者と話しをする場合にも、やはり、正しい日本語の習得が必要になります。それは日本語学校の役割であり、責任でもあります。



日本語学校での人材育成以外に、技能実習生を受入れるにあたり、入国後研修をする際に、日本語学校の資源を生かして、技能実習生に日本語を教えてもらったりしています。また、今年の夏休みに、新たな取り組みとして、初めて介護海外大学生のインターンシップを受入れ、学生さんに少しでも本場の日本語授業を体験していただき、美しい日本語を体感していただければ幸いです。

駿府葵会が掲げている行動指針の一つに「社会福祉の精神に基づき、地域と連携し、高齢者が安心できる生活の実現を使命としています。」があります。海外留学生には豊かな国際感覚を持ち、日本社会に貢献できる人材になっていただきたいと考えています。そして、それが介護現場の人手不足の解消に繋がることを期待しています。



# 職員紹介

各施設の職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手  
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか  
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

## デイ 熱海伊豆海の郷

（熱海市）



- 吉川貴代美（デイサービス生活相談員）
- 子供がバスケで活躍したこと。
- 比江島慎（バスケ選手）
- 住宅ローンを返済し、国内一周旅行する
- ここのデイサービスを選んでよかったと思ってもらえるデイサービスにしていきたいです。
- 複合型の施設なので、勉強になりそうだったから



## 特養 みぎわ園

（富士市）



- 野村菜通（介護職）
- やっと部屋が片付いた事。
- TaylorSwiftと、さくらももこ
- 世界VIPツアー
- 今以上お互いを助け合う職場
- 法人の理念である「自分を愛するように、あなたの隣人を愛せよ」に共感したからです。



## 特養 菜の花

（藤枝市）



- 宮本凌輝（介護福祉士）
- 車で遠くまで出掛けるようになったこと
- 山原怜音（清水エスパルス）
- サッカーワールドカップを現地観戦してみたい。
- ご利用者様にとって日々が楽しく明るく過ごせるような環境にしていきたいです。
- 学生時に施設で実習生として介護過程を学ばせて頂きました。今年の春より、菜の花の職員となり優しい先輩職員方に教えて頂いています。菜の花の入居者様は穏やかに生活して下さっているように思います。質の高い介護を入居者様に提供する為には、日頃のコミュニケーションを大切に、信頼関係を築くことが大切です。これから介護の様々な経験を積みながら入居者様の安全と安心できる生活を支援していき、介護の知識と技術を向上できるように努めていきたいと思っています。

## 特養 亀寿の郷

（藤枝市）



- 奥山麻衣（生活相談員）
- 子供の頑張っている姿を見れたこと。
- 大谷翔平選手
- 自宅の購入。旅行。あとは、貯金。
- 利用者様の生きがいや職員のやりがいを感じられる施設。
- 施設実習でお世話になりました。家から通いやすく利用者様・職員の笑顔も多くて、雰囲気も良かったからです。



## 特養 袋井ゆうあいの里

（袋井市）



- 大村未歩（機能訓練指導員）
- ベッドに一人で眠れて熟睡できたこと。
- 北村匠海
- 家族で海外旅行。放浪しながら、子どもと色々な経験をしたい。
- 利用者様やご家族様に「ここで過ごせてよかった。」と思っていただける施設。
- 仕事と家庭のバランスを整えたいと思い転職を考えた。この施設なら、機能面ばかりにとらわれず、“その人らしさ”をより大切に考えながら仕事ができるのでは・・・と思った為。

## 特養 浜名湖園

（浜松市中央区）



- N・H（管理栄養士）
- 特になし
- AAA
- 旅行
- 何でも相談しあえる施設にしていきたいです。
- 利用者様の近くに寄り添える直営だったことと、色々とチャレンジできると思ったからです。



どうぞよろしくお願ひします

## 会員施設の紹介

### 特別養護老人ホーム 熱海伊豆海の郷

#### 【一言キャッチフレーズ】

「お客様の「自分自身」を大切にしたい寄り添うケアをいたします」

#### 【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホーム 熱海伊豆海の郷
- ・施設長名：名川 覚
- ・運営法人：社会福祉法人 湖成会
- ・理念：「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」
- ・開所日：平成19年2月1日
- ・所在地：熱海市伊豆山717-1
- ・提供サービス：介護老人福祉施設、短期入所生活介護、通所介護、養護老人ホーム、  
特定施設入居者生活介護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター
- ・定員数：235名



※詳細版はこちらから ⇒



### ケアハウスみどりの風・おかべ

#### 【一言キャッチフレーズ】

生まれ、育ち、住み慣れた地域で最期を迎えられるよう、法人全体で取り組んでいきます

#### 【施設概要】

- ・施設名：ケアハウスみどりの風・おかべ
- ・施設長名：磯邊清孝
- ・運営法人：社会福祉法人至誠会
- ・理念：理念ノーマライゼーション～普通の暮らし、平穏な暮らしを実現します～
- ・開所日：平成24年4月1日
- ・所在地：藤枝市岡部町内谷581-8
- ・提供サービス：軽費老人ホーム（ケアハウス）通所介護
- ・定員数：ケアハウス：42名 通所介護：通常規模



※詳細版はこちらから ⇒



### 養護老人ホーム 袋井市立可睡寮

#### 【一言キャッチフレーズ】

～生きがいを実感し、楽しく暮らせる場を提供します～

#### 【施設概要】

- ・施設名：養護老人ホーム 袋井市立 可睡寮
- ・施設長名：兼子邦子
- ・運営法人：社会福祉法人 明和会
- ・理念：希望にあふれる心を大切にします心ふれあう社会生活を目指します  
心豊かな人間性を育てていきます
- ・開所日：昭和26年9月（委託平成12年～指定管理平成18年～）
- ・所在地：静岡県袋井市久能2995-2
- ・提供サービス：養護老人ホーム
- ・定員数：50名



※詳細版はこちらから ⇒



## 令和6年度老施協活動報告（令和6年7月1日～令和6年10月31日）

## 【老施協】

- ★7月19日 公明党県本部政策要望懇談会（正副会長）
- ★8月2日 正副会長会議 会運営協議等
- ★8月22日 正副会長会議 会運営協議等
- ★8月22日 知事要望（相談役、正副会長）
- ★8月27日 第2回理事会

【協議・報告事項：理事の選任、委員会委員の選任、令和6年度会長表彰受賞者の決定、防災訓練の実施案、介護の日啓発活動、第13回静岡県高齢者福祉研究大会等】

- ★8月27日 県福祉長寿局との懇談会（県政さわやかタウンミーティング）
- ★8月27日 県への要望活動（正副会長）
- ★9月2日 静岡市への要望活動（会長、中部支部長等）
- ★9月3日 浜松市への要望活動（会長、西部支部長等）
- ★9月5日 正副会長会議 会運営協議等
- ★9月10日 自民党県議連への要望活動（相談役、正副会長）

## 【企画経営委員会】

- ★7月12日 第2回委員会  
アンケート調査結果、要望活動等、DX化調査・研究
- ★9月13日 第3回委員会  
要望活動、DX化調査・研究等

## 【広報委員会】

- ★7月22日 第2回委員会  
『しず老施協』第71号の企画、老施協ホームページ

## 【研修委員会】

- ★7月5日 接遇マナー研修（シズウエル）
- ★8月5日 新人職員研修（シズウエル）
- ★8月7日 人材育成研修（リモート）
- ★8月19日 第3回委員会（接遇マナー研修等開催結果、県外施設視察研修等）
- ★10月11日 第4回委員会（新人職員研修等開催結果、介護力向上研修等）

## 【次世代委員会】

- ★8月2日 第3回委員会  
学生セミナー、「介護の日」啓発ポスター

## 【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★7月25日 第3回委員会（発表のブロック分け、当日の分担表等）
- ★8月19日 第4回委員会（合同委員会）（全体会議、班別会議）
- ★9月5日 第13回高齢者福祉研究大会（グランシップ）

## 【養護委員会】

- ★9月17日 第2回委員会総会  
措置費改定に係る意見交換、市町との協議状況報告

## 【特養委員会】

- 6月27日～ 待機・入所状況調査アンケート配布・集計
- ★10月22日 第3回委員会  
待機・入所状況調査報告書、加算取得状況調査等

## 【地域ケア委員会】

- ★7月4日 第2回委員会（県への要望等）

## 介護の日街頭キャンペーン

11月11日の「介護の日」を中心に各支部で街頭啓発活動等を実施します！

○令和6年11月11日（月）午後には各地区で「ケアットちゃん」※と実施

	実施場所		実施場所		実施場所
東部	J R三島駅 駅前広場他	中部	J R静岡駅 コンコース	西部	J R浜松駅 コンコース

## ※「ケアットちゃん」とは？

平成20年に「介護の日」が制定されたことを機に、当時の21世紀委員会では会員から介護の日のキャラクターを募集したところ、「ケアットちゃん」が選ばれました。

考案者は神久呂の園の小林（旧姓：古橋）千洋さん。

「ケアットちゃん」は、当協議会をPRするために様々な機会を活用されており、今年2月の正副会長会議で当協議会のキャラクターとして位置付けられました。

## 【コンセプト】 親しみやすさ、清潔感をイメージ

- ・ウサギをデフォルメし、介護の“介”の字を表すため、耳が垂れている。
- ・両手は支え合う気持ちとして広げている。
- ・柔らかさ、やさしさ、安らぎを感じる色のピンクとブルーを使用。
- ・エプロンのポケットは生命や情熱を感じる赤でアクセント。



静岡県老人福祉施設協議会  
キャラクター「ケアットちゃん」

## 編集後記

会員の皆様、【しず老施協】のご愛読誠にありがとうございます。

最近ピアノを始めました。スマホ等のサブスク年5千円ほどで時間無制限のレッスンが受けられます。ベートーヴェンの第九から始めましたが小指・薬指が全く思うように動きません。「あああ・・・自分の指が思うように動かないなら職員が思うように動かないの

は当たり前だなあ」と、ちょっとした悟りを開いてしまいました。練習を続け今では両手数本の指で演奏できるようになり和音になると曲の深みが一層広がります。

介護はチームでの仕事だと感じます。職員と介護サービスと言う演奏を和音でお客様に奏でられるよう楽しんで練習を続けていきます。でも薬指・小指は曲者だなあ。（倉田聡）

